

安平町

9338 山内尚香

1. 安平町の歴史

1.1 地名の由来。

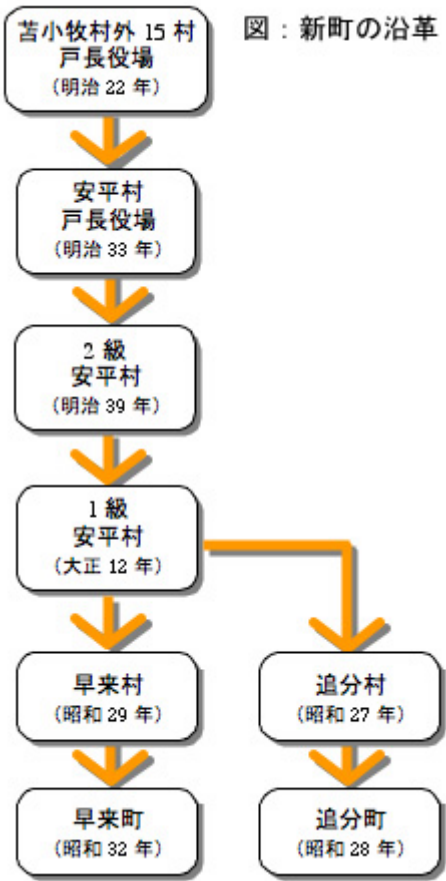
安平町は北海道胆振支庁管内の勇払郡の町であり、2006 年（平成 18 年）3 月 27 日に同早来町と同追分町と合併したことにより誕生した町である。名前の由来はアイヌ語の「アラ・ピラ・ッペ（片方に崖のある川）」が由来である。

1.2 歴史

明治 22 年に植苗美々からフンモケ（現・富岡）に入植・開墾が行われる。同年に室蘭線と夕張線の鉄道施設を建設するため工事関係者の入植が始まる。明治 25 年に室蘭線・夕張線が開通し、現在の追分に両線の分岐点として停車場と機関庫が設置されたことにより鉄道関係者の定住が進む。一方、鉄道の開通は開拓も促進し、農業関係者の移住も進み、農林業、馬産業が発展するほか、商工業も人口の増加に伴い立地が進み、まちとして形が整う。明治 33 年に植苗村と勇払村の一部が分村して安平村となり、現在の早来に戸長役場が置れた。明治 39 年には二級町村制が、大正 12 年には

一級町村制が施行され、昭和 27 年には追分村が分村、翌 28 年に町制が施行され追分町が誕生。また、分村後の安平村は昭和 29 年に名称変更して早来村に、その後、昭和 32 年に町制が施行され早来町とった。近年では、新千歳空港や道都札幌にもほど近いといった立地条件を活かし、

図 1 安平町の歴史



出典:安平町 HP

表 1 安平町年表

1900 年	安平戸長役場を設置。
1906 年	二級町村制施行、安平村に。
1923 年	一級町村施行。
1952 年	安平村から追分村が分村。
1953 年	追分村が町制施行。
1954 年	安平村が早来村に改称。
1957 年	早来村が町制施行。
2006 年	早来町と追分町が新設合併、安平町が成立。

出典:フリー百科事典ウィキペディア

産業振興と定住人口の拡大に努めるなど、潜在的な可能性の高い地域として今後の発展が期待されている。

図 2 安平町の位置



出典：胆振支庁 HP

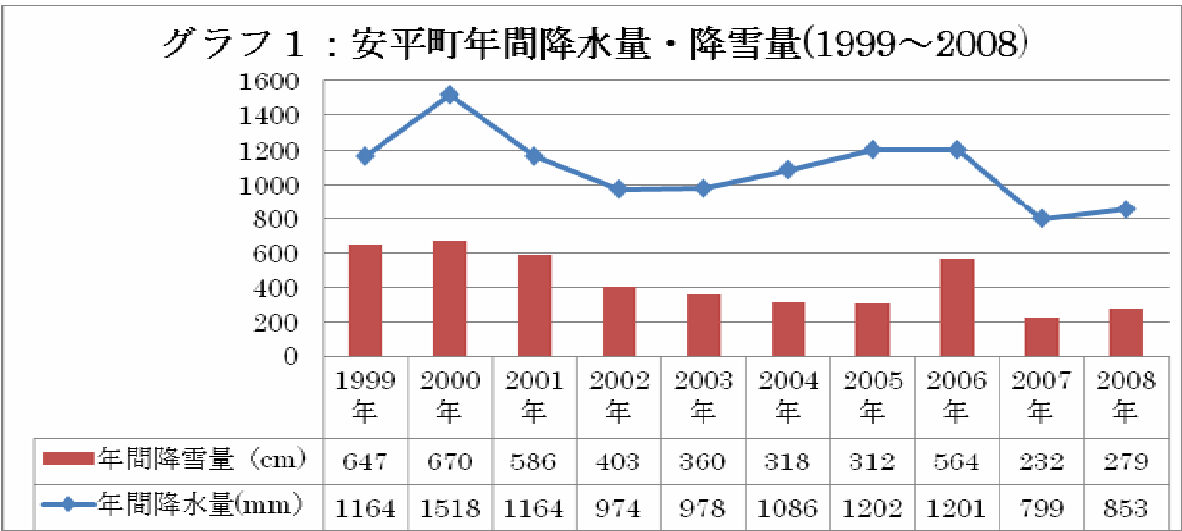
2 地勢・気候

2.1 地勢

安平町は、北海道の南西部に位置し、北は由仁町、東は厚真町、南は苫小牧市、西は千歳市に接している。道都札幌市から約 50km、北海道の空の玄関口である新千歳空港からは 20km 程度の位置にあり、交通の便のよい地域といえる。面積は合計 237.13 km^2 であり、うち可住地面積は 117.99 km^2 となっている。

2.2 気候

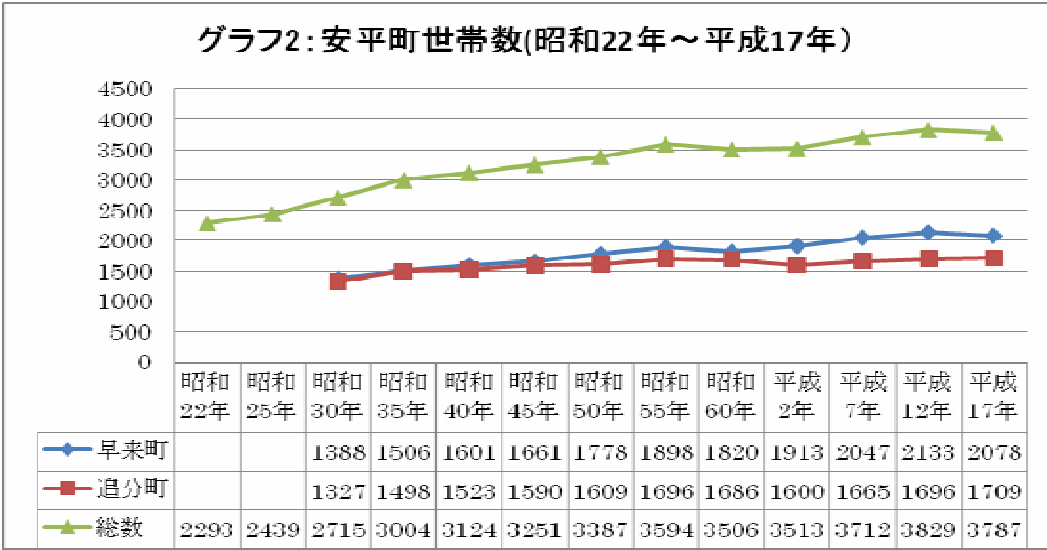
安平町の気候は、太平洋に近い南部は海洋性の気候で 1 年を通して温暖である。また、年間平均気温は 6.8 度と北海道平均と比較すると暖かく、年間降水量は 844mm となっているが、降水は夏期と晩秋から初冬に集中しており、冬期の降雪が少ないなど、北海道の中では気象条件に恵まれた地域になっている。



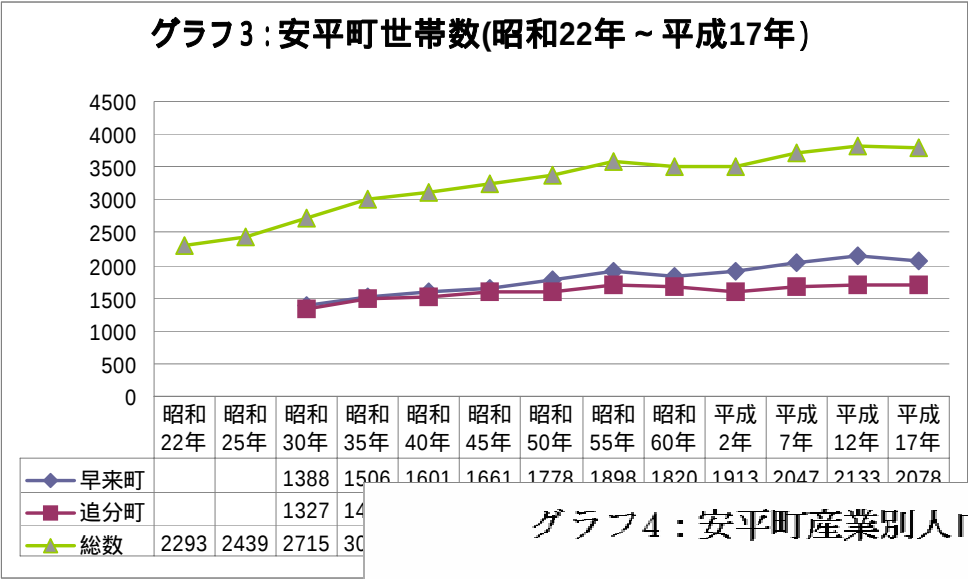
出典：気象庁 HP

3 人口・世帯数

昭和 22 年から昭和 35 年にかけて、早来町も追分町も人口は急激に増加をしているが、昭和 40 年を境に人口は減少していった。早来町の人口減少は顕著であるが、追分町にいたっては人口減少は著しく、平成 17 年度をみると、早来町と追分町の人口差は大きく開き、人口減少がみられた昭和 40 年では、差が 625 人であったが、平成 17 年度では差が 1319 人となっており、約 2 倍の差となっていることが分かる（図 4 参照）。世帯数は、人口と比べると増加傾向にあることが見て取れる。昭和 50 年から平成 12 年にかけて世帯数が増加している（図 5 参照）。



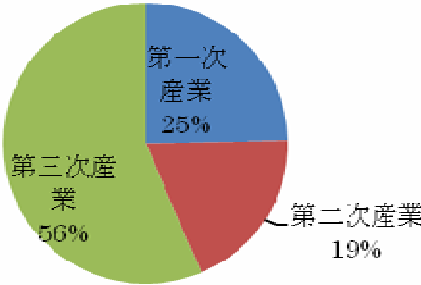
出典:胆振支庁 HP



出典：胆振支庁 HP

4.産業

グラフ4：安平町産業別人口



4.1 産業別人口

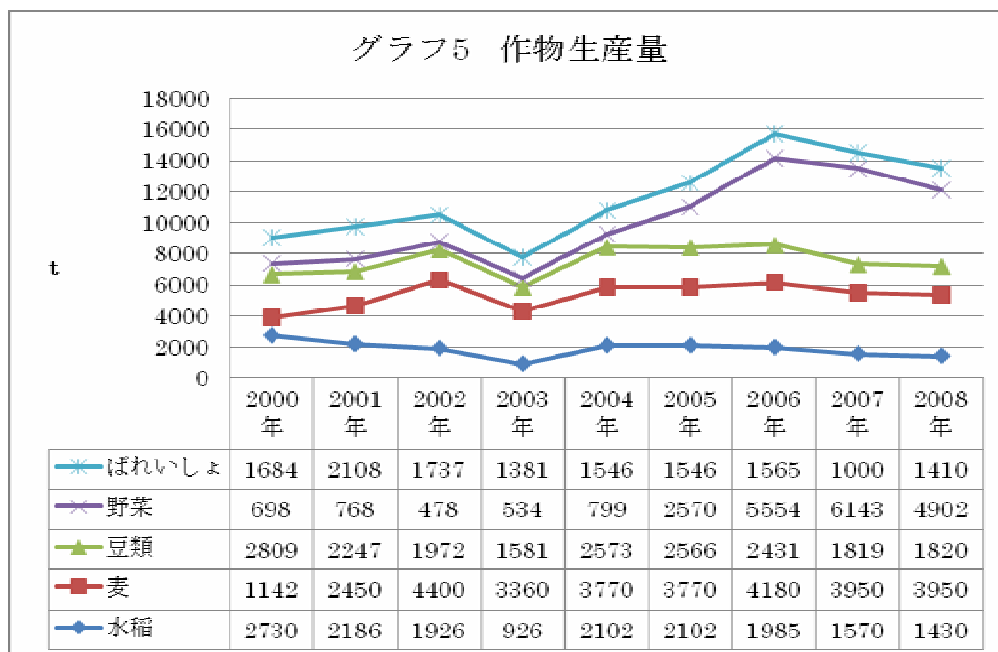
産業別人口をみると、第三次産業が5割を占めていることがわかる。安平町は農業が産業の軸をなしているが、第一次産業の人口は第三次産業の人口の半分しかない。

出典：胆振支庁 HP

4.2 農業

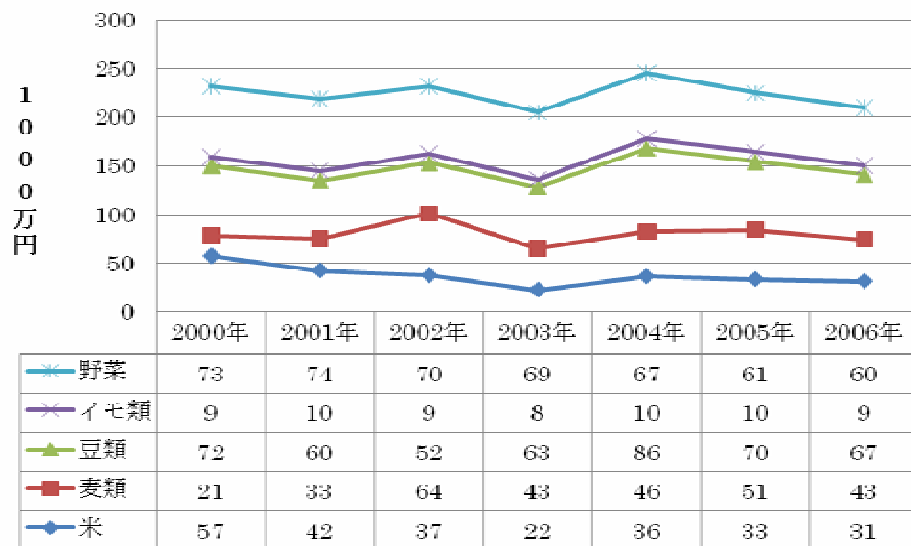
安平町は、農業が産業の軸をなしている。特に遠浅地区での乳牛生産は有名で、ここで改良された牛は全国へと送り出されている。メロンも特産。「アサヒメロン」のブランド名で知られる。また早来富岡の吉田牧場、早来源武のノーザンファームなど競走馬生産も盛ん。中央競馬で活躍し、種牡馬としても多くの産駒を送り出したマルゼンスキーもこの町で生産された。

作物量を見てみると、水稻は比較的生産量が低いことが分かる。ばれいしょと野菜は2003年で急激に生産量が低下しているが、この年から2006年にかけては増加傾向にあったことが分かる。豆類は2004年から比較的安定傾向にあり、生産高を見ても5つの中でも一番高いことが分かる。



出典:農林水産省 HP

グラフ6 安平町農作物生産高

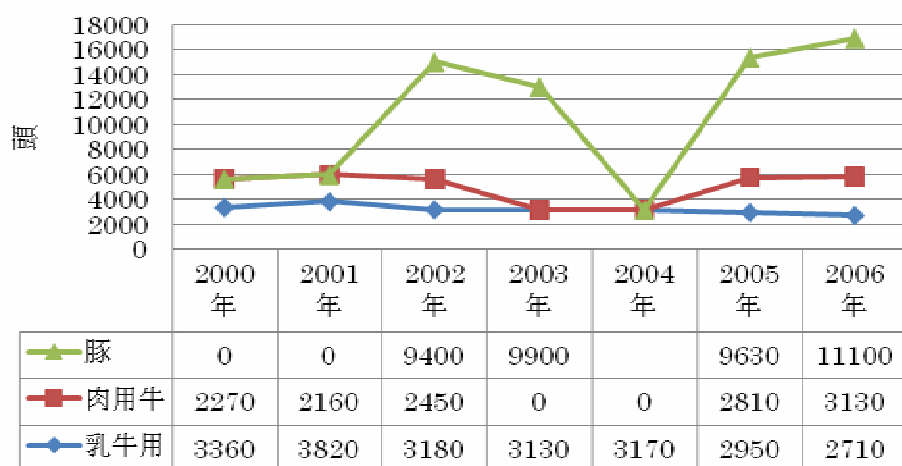


出典:農林水産省 HP

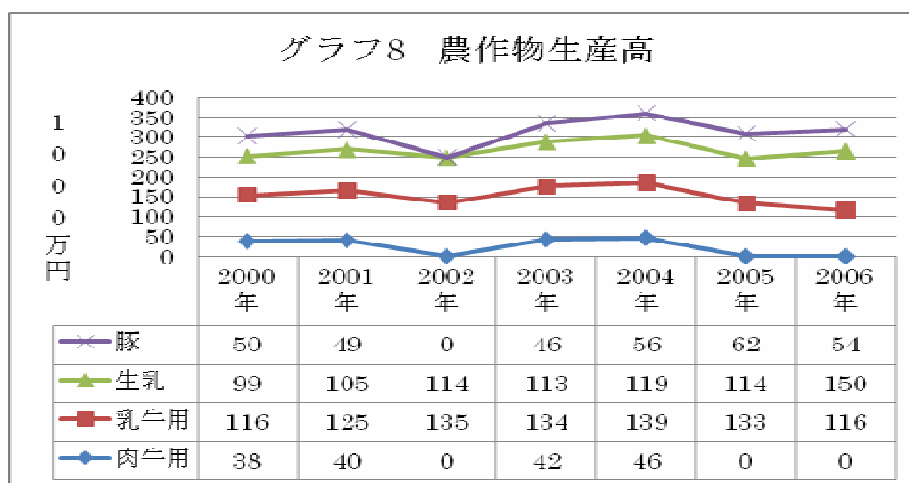
4.3 畜産

安平町の特産に「チーズ」と「あんがす牛」と農産加工品があるが、2005 年からの 3 年をみると、肉用牛の養頭数はほぼ並行になっていることがわかる。また、逆に、乳牛用の養頭数はわずかではあるが年々減少の傾向にあるようだ。逆に養豚数に至っては 2006 年度はデータがなかったが、年々増加傾向にある。

グラフ 安平町養頭数



出典：農林水産省 HP



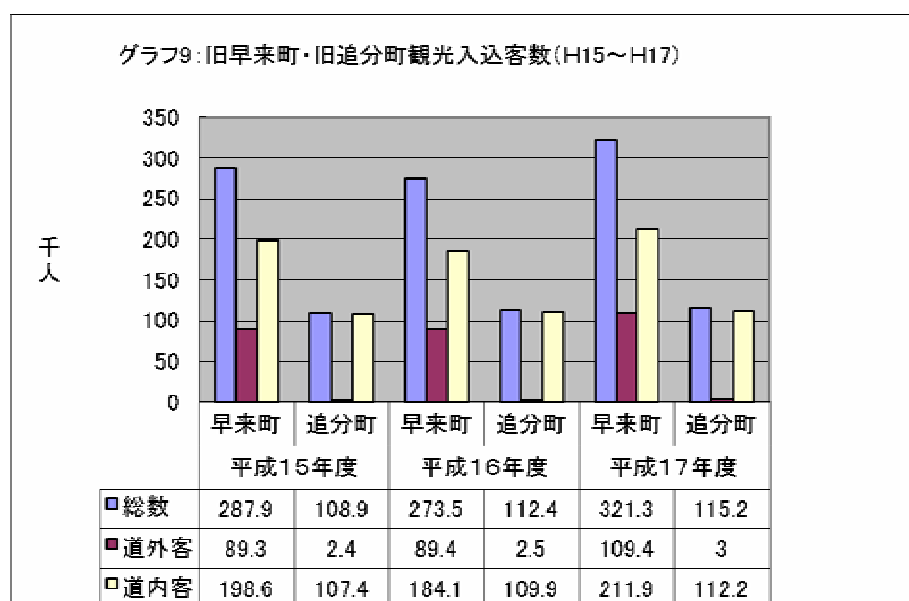
出典：農林水産省 HP

5 観光

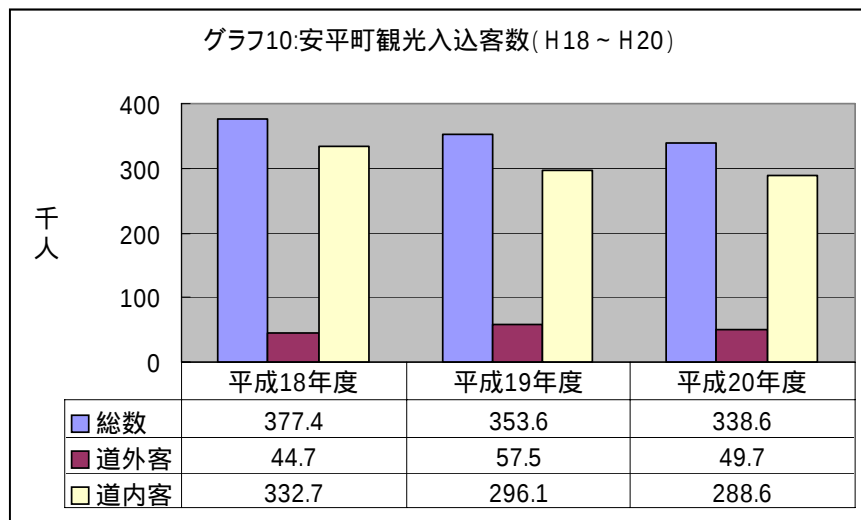
5.1 観光客入込数

合併以前は、追分町より早来町を訪れる観光客が多い。早来町では種牡馬としても多くの産駒を送り出したマルゼンスキーや 2005 年に三冠を達成したディープインパクトも早来町で生産された。また、元スピードスケート選手の橋本聖子の出身地でもあり、ゴルフ場や牧場などの資源の豊富である。また、早来町は新千歳空港からも近く、立ち寄りやすいのではないだろうか。

また、安平町には引退した名馬が見学できる牧場施設や 7 か所のゴルフ場、温泉、キャンプ場など様々な観光資源があるが、合併後の安平町の観光客数は年々減少傾向にある。



出典:北海道庁 HP



出典:北海道庁 HP

5.1 観光名所

・鶴の湯温泉

北海道で2番目に古い由緒ある温泉。鶴が傷を癒(いや)していたところからその名がつけられた。温泉の前にある池を中心とした庭園では、春はエゾヤマサクラ、夏はハス、花菖蒲、アヤメ、そして秋は紅葉と鮮やかな彩りに染まります。冬は大きなトドマツや広葉樹に雪が積もり北海道の深山を思わせる閑静な名所となり、四季それぞれ情緒ある風情を醸し出している。

図3 鶴の湯温泉



出典：安平町 HP

・鹿公園

日本最古の保健保安林の中にある鹿公園。名前の由来通り、『鹿』がたくさんいる。

図4 鹿公園



出典:安平町 HP

・安平町スポーツセンター”せいこドーム”

安平町早来出身のオリンピック選手である橋本聖子さんにちなんで”せいこドーム”と名づけた。

冬期間はアイスホッケーリンクとして町内外の人たちで賑わっており、トレーニング室やシャワー室も完備している。また、橋本聖子メモリアルホールには、選手として活躍した写真パネル、表彰盾やトロフィーの数々が展示されている。

図 5 安平町スポーツセンター “ せい
こドーム ”



出典：安平町 HP

図 6 鉄道資料館



出典：安平町 HP

・ 鉄道資料館

鉄道に関する貴重な資料を収集・展示した鉄道資料館は、鉄道のまちとして発展した旧・追分町ならではの観光スポットでした。安平町となっても、そこに残る歴史は失われる事はない。

資料館には鉄道ファン必見の D 5 1 機関車や、現在では希少な S L 部品も保存展示している。

参照 HP

- ・ 安平町へようこそ <http://www.town.abira.lg.jp/>
- ・ 胆振支庁ホームページ <http://www.iburi.pref.hokkaido.lg.jp/index.html>
- ・ 北海道庁ホームページ <http://www.pref.hokkaido.lg.jp/>
- ・ 気象庁ホームページ <http://www.jma.go.jp/jma/index.html>
- ・ 安平町商工会 <http://www4.ocn.ne.jp/~hayasho/>
- ・ フリー百科事典 Wikipedia - 安平町—
<http://ja.wikipedia.org/wiki/%E5%AE%89%E5%B9%B3%E7%94%BA>
- ・ 農林水産省ホームページ 市町村の姿 <http://www.tdb.maff.go.jp/machimura/>